

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2020年7月8日

【四半期会計期間】 第13期第1四半期(自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)

【会社名】 ウエルシアホールディングス株式会社

【英訳名】 WELCIA HOLDINGS CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 松本 忠久

【本店の所在の場所】 東京都千代田区外神田二丁目2番15号

【電話番号】 03-5207-5878 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役副社長兼執行役員最高財務責任者 佐藤 範正

【最寄りの連絡場所】 東京都千代田区外神田二丁目2番15号

【電話番号】 03-5207-5878 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役副社長兼執行役員最高財務責任者 佐藤 範正

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第12期 第1四半期 連結累計期間	第13期 第1四半期 連結累計期間	第12期
会計期間		自 2019年3月1日 至 2019年5月31日	自 2020年3月1日 至 2020年5月31日	自 2019年3月1日 至 2020年2月29日
売上高	(百万円)	210,442	232,502	868,280
経常利益	(百万円)	8,827	11,253	40,348
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	(百万円)	5,441	6,602	22,802
四半期包括利益又は包括利益	(百万円)	5,359	6,661	22,582
純資産額	(百万円)	147,261	166,317	162,418
総資産額	(百万円)	341,202	408,373	390,006
1株当たり四半期(当期)純利益金額	(円)	52.17	63.20	218.48
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額	(円)	52.12	63.14	218.26
自己資本比率	(%)	42.9	40.6	41.5

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 経営成績等の状況の概要

##### 経営成績の分析

当第1四半期連結累計期間（2020年3月1日～2020年5月31日）におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症拡大局面にあり、政府より発令された緊急事態宣言（4月7日）を受け各地方自治体から発信された感染拡大防止のための休業要請や外出自粛要請により、企業活動や個人消費は大きく収縮、景気は後退局面となり、宣言解除後も先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが主に事業を行うドラッグストア業界におきましては、感染症防止策としての行動様式の変化や企業によるテレワーク等の推進により、マスクや消毒液等の衛生関連商品や食品などの需要が急増するなど販売動向が大きく変化しました。また、医療機関への受診抑制による処方箋枚数が減少等、患者様の動向が変化しており、厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループでは、営業時間を短縮（時短営業 最多839店舗、うち休業 最多48店舗）しつつ、政府の要請である3密回避のためチラシ販促を自粛し、地域において商品供給及びサービス提供の役割を果たすべく営業を継続いたしました。

感染症予防対策商品や食品等の需要増により物販売上は順調に推移し、調剤についても薬価改定の影響等があるものの併設店舗数の増加（5月末現在1,452店舗）等により売上は増加いたしました。

また、2020年3月1日付で、四国地方への出店地域を拡大するため、高知県を地盤とする株式会社よどや（24店舗）を株式取得により子会社化いたしました。

出店と閉店につきましては、株式会社よどやの24店舗を加え、グループ全体で26店舗の出店と6店舗を閉店し、当第1四半期末の当社グループの店舗数は2,056店舗となりました。

なお、2020年6月1日付で群馬県を中心に店舗展開する株式会社クスリのマルエ（59店舗）を株式追加取得により子会社化いたしました。同年7月1日付で愛媛県を中心に店舗展開する株式会社ネオファルマー（10店舗）、株式会社サミット（3店舗）を株式取得により完全子会社化いたしました。

（単位：店）

	前期末店舗数 (2020年2月29日)	子会社化による新規増 加店舗数	出店数	閉店数	第1四半期末店舗数 (2020年5月31日)
ウエルシア薬局	1,800	-	23	5	1,818
シミズ薬品	59	-	1	-	60
丸大サクラ芍薬局	84	-	1	-	85
M A S A Y A	34	-	-	-	34
金光薬品	28	-	-	-	28
よどや(注)1	-	24	1	1	24
国内計	2,005	24	26	6	2,049
Welcia-BHG(Singapore)	7	-	-	-	7
合計	2,012	24	26	6	2,056

(注)1 2020年3月1日付で当社がよどやを株式取得により子会社化し連結子会社としております。

2 上表の「第1四半期末店舗数」のうち調剤取扱店舗は、ウエルシア薬局1,376店舗、シミズ薬品29店舗、丸大サクラ芍薬局26店舗、金光薬品16店舗及びWelcia-BHG(Singapore)5店舗の合計1,452店舗、また、深夜営業店舗は、ウエルシア薬局1,440店舗、シミズ薬品53店舗、丸大サクラ芍薬局43店舗、金光薬品6店舗及びよどや13店舗の合計1,555店舗となっております。

また、品目別売上高は、下記の通りとなっております。

区 分	金額（百万円）	前年同四半期比(%)
医薬品・衛生介護品・ベビー用品・健康食品	45,233	105.0
調剤	42,072	112.6
化粧品	35,749	95.9
家庭用雑貨	33,693	111.5
食品	57,135	123.1
その他	18,618	115.9
合 計	232,502	110.5

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は232,502百万円（前年同四半期比10.5%増）、営業利益は10,526百万円（同29.4%増）、経常利益は11,253百万円（同27.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6,602百万円（同21.3%増）となりました。

#### 財政状態の分析

##### （資産）

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して18,367百万円増加し、408,373百万円となりました。これは主に、現金及び預金が12,083百万円、商品が8,962百万円及び建物及び構築物（純額）が2,478百万円が増加したことによるものです。

##### （負債）

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比較して14,468百万円増加し、242,056百万円となりました。これは主に、未払法人税等が4,840百万円減少したものの、買掛金が14,520百万円及び長期借入金金が1,327百万円増加したことによるものです。

##### （純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比較して3,899百万円増加し、166,317百万円となりました。これは主に、剰余金の配当により利益剰余金が2,829百万円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益6,602百万円を計上したことによるものです。

#### (2) 経営方針、経営環境及び対処すべき課題等

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針、経営環境及び対処すべき課題等について重要な変更はありません。

#### (3) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 3 【経営上の重要な契約等】

該当事項はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	247,473,600
計	247,473,600

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年5月31日)	提出日現在発行数(株) (2020年7月8日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	104,816,838	104,816,838	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株 であります。
計	104,816,838	104,816,838	-	-

(注) 提出日現在発行数には、2020年7月1日から四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

##### (2) 【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
2020年3月1日～ 2020年5月31日	-	104,816,838	-	7,736	-	36,913

##### (5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

## (6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（2020年2月29日）に基づく株主名簿による記載をしております。

## 【発行済株式】

2020年5月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 29,200	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 104,681,100	1,046,811	-
単元未満株式	普通株式 106,538	-	-
発行済株式総数	104,816,838	-	-
総株主の議決権	-	1,046,811	-

(注) 1. 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が200株(議決権2個)含まれておりません。

2. 「単元未満株式」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式20株、自己保有株式6株が含まれております。

## 【自己株式等】

2020年5月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(自己保有株式) ウエルシアホールディングス株式会社	東京都千代田区外神田二丁目2番15号	29,200	-	29,200	0.03
計	-	29,200	-	29,200	0.03

(注) 従業員持株E S O P信託の信託財産(所有者名義「日本マスタートラスト信託銀行株式会社(従業員持株E S O P信託口)」127,600株及び役員報酬B I P信託の信託財産(所有者名義「日本マスタートラスト信託銀行株式会社(役員報酬B I P信託口)」203,016株は、上記の自己株式等を含めておりません。

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（2020年3月1日から2020年5月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（2020年3月1日から2020年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	38,838	50,922
売掛金	43,307	43,833
商品	89,318	98,280
その他	18,751	9,947
貸倒引当金	12	11
流動資産合計	190,203	202,971
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	76,942	79,420
土地	13,268	14,475
リース資産(純額)	39,452	39,519
その他(純額)	6,246	6,364
有形固定資産合計	135,910	139,780
無形固定資産		
のれん	15,179	15,952
その他	2,434	2,425
無形固定資産合計	17,613	18,378
投資その他の資産		
差入保証金	33,452	34,335
その他	12,850	12,931
貸倒引当金	23	23
投資その他の資産合計	46,279	47,243
固定資産合計	199,802	205,402
資産合計	390,006	408,373



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	137,845	152,366
短期借入金	4,654	4,935
リース債務	6,377	6,524
未払金	8,752	7,657
未払法人税等	9,059	4,218
賞与引当金	4,160	5,884
ポイント引当金	24	35
その他	12,358	13,941
流動負債合計	183,234	195,566
固定負債		
長期借入金	5,549	6,877
リース債務	22,660	22,659
資産除去債務	8,719	9,157
退職給付に係る負債	4,062	4,245
役員株式給付引当金	589	625
その他	2,771	2,924
固定負債合計	44,353	46,490
負債合計	227,587	242,056
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,736	7,736
資本剰余金	51,669	51,672
利益剰余金	103,525	107,286
自己株式	1,222	1,140
株主資本合計	161,709	165,555
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	262	370
為替換算調整勘定	38	57
退職給付に係る調整累計額	245	233
その他の包括利益累計額合計	21	80
新株予約権	236	230
非支配株主持分	493	450
純資産合計	162,418	166,317
負債純資産合計	390,006	408,373

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年5月31日)
売上高	210,442	232,502
売上原価	146,831	162,977
売上総利益	63,610	69,525
販売費及び一般管理費	55,474	58,998
営業利益	8,136	10,526
営業外収益		
受取利息及び配当金	5	2
不動産賃貸料	211	253
協賛金収入	155	63
その他	457	566
営業外収益合計	830	885
営業外費用		
支払利息	93	107
持分法による投資損失	-	4
不動産賃貸原価	39	39
その他	7	6
営業外費用合計	139	157
経常利益	8,827	11,253
特別利益		
固定資産売却益	0	3
事業譲渡益	63	-
店舗家賃免除益	-	67
その他	1	0
特別利益合計	66	70
特別損失		
固定資産売却損	128	-
固定資産除却損	51	19
減損損失	33	150
新型コロナウイルス対応による損失	-	460
その他	36	5
特別損失合計	249	635
税金等調整前四半期純利益	8,643	10,689
法人税、住民税及び事業税	3,496	4,218
法人税等調整額	265	105
法人税等合計	3,230	4,112
四半期純利益	5,413	6,576
非支配株主に帰属する四半期純損失( )	28	25
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,441	6,602

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年5月31日)
四半期純利益	5,413	6,576
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17	108
為替換算調整勘定	44	35
退職給付に係る調整額	8	12
その他の包括利益合計	53	85
四半期包括利益	5,359	6,661
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,411	6,703
非支配株主に係る四半期包括利益	51	42

## 【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

新型コロナウイルス感染症対応による損失

新型コロナウイルス感染症の拡大防止の取組として、政府及び各自治体からの営業自粛要請や緊急事態宣言を受け、当社において店舗の臨時休業等により発生した損失額であり、その内訳は次のとおりであります。

従業員給与及び手当	234百万円
店舗に係る固定費	117百万円
感染防止対策費用等	108百万円
計	460百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)
減価償却費	3,411百万円	3,580百万円
のれんの償却額	390百万円	398百万円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年4月10日 取締役会	普通株式	2,200	21.00	2019年2月28日	2019年5月13日	利益剰余金

(注) 配当金の総額には、従業員持株E S O P信託及び役員報酬B I P信託が保有する自社の株式に対する配当金10百万円が含まれております。

## 2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年4月8日 取締役会	普通株式	2,829	27.00	2020年2月29日	2020年5月7日	利益剰余金

(注) 配当金の総額には、従業員持株E S O P信託及び役員報酬B I P信託が保有する自社の株式に対する配当金8百万円が含まれております。

## 2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、医薬品・調剤・化粧品等を中心とした小売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	52円17銭	63円20銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (百万円)	5,441	6,602
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(百万円)	5,441	6,602
普通株式の期中平均株式数(千株)	104,298	104,466
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	52円12銭	63円14銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額 (百万円)	-	-
普通株式増加数(千株)	104	104
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当 たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株 式で、前連結会計年度末から重要な変動があったも の概要	-	-

(注) 株主資本において自己株式として計上されている信託に残存する自社の株式は、1株当たり四半期純利益金額の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

1株当たり四半期純利益金額の算定上、控除した当該自己株式の期中平均株式数は前第1四半期連結累計期間489,364株、当第1四半期連結累計期間320,966株であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2 【その他】

2020年4月8日開催の取締役会において、2020年2月29日の株主名簿に記録された株主に対して、次のとおり期末配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	2,829百万円
1株当たりの金額	27円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	2020年5月7日

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年7月8日

ウエルシアホールディングス株式会社  
取締役会 御中

### 有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	轟	一	成
--------------------	-------	---	---	---

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	大井	秀	樹
--------------------	-------	----	---	---

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているウエルシアホールディングス株式会社の2020年3月1日から2021年2月28日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(2020年3月1日から2020年5月31日まで)及び第1四半期連結累計期間(2020年3月1日から2020年5月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ウエルシアホールディングス株式会社及び連結子会社の2020年5月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。